



ては、子ども宿泊体験交流協議会による、都市からの子ども受入れ事業を実施するほか、2年目となる台東区への小学生派遣事業を行ってまいります。

町民課関係

町税につきましては、平成24年度も町民皆さまの高い納税意識に支えられ、収納率は道内市町村でトップクラスを維持しております。今後も、さらなる向上を目指し、納税に対する理解を求めてまいります。

防災・防犯・交通安全関係につきましては、地域住民の方のご協力や各種団体の連携により、安全なまちづくりを推進してまいります。

特に防災関係では、地域防災委員制度を創設し、自助、共助、公助の連携を密にし、震災に対して迅速に対応できるよう、施設の機能強化や通信・防災備品等の整備を進めてまいります。

戸籍年金窓口関係につきましては、管内でいち早く実施した戸籍の電子化やパスポートの発給事務をはじめとし、今年度から年金情報の照会業務を開始するなど、行政サービスの向上に

努めてまいります。

瓜幕支所

瓜幕地区の振興につきましては、ウリマックホールを核として、ライディングパーク、道の駅うりまぐ、うりまぐ夢創造館、瓜幕駅舎記念広場など、近年充実しつつある各施設を活用しての自治活動やサークル活動、さらには公民館分館活動や各種イベントなど、年間を通じて利用促進を図ってまいります。

農業

昨年は4月に入ってから降雪、5月上旬の豪雨により農作業に大きな影響が出ましたが、農業生産額174億1千万円は、史上最高額を更新するところとなりました。

しかしながら、TPP協定など経済のグローバル化に伴う海外諸国との貿易拡大による影響を考えると、農業を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。今後、生産性の向上と所得増加に向けて、基盤整備をはじめとした対策を確実に実施してまいります。

畜産関係につきましては、これまで瓜幕バイオガスプラントの調査設計が終了し、本年度は工事請負費予算を計上し、建設に向けた取り組みを進めてまいります。

基盤整備につきましては、国営事業および道営事業、補助事業により、排水対策および水の確保など、近年の気象状況に対応した整備を生産者、関係機関と連携して進めてまいります。

農政関係では、JA等関係機関との連携を一層密にして、国による農業支援策を有効に活用するなど、経営の安定化と食の安全、安心を図るとともに、環境を重視した農業を推進し、食料供給地としての役割を発揮してまいります。

農業委員会

農業者の公的な代表機関として、農地の有効利用、意欲ある担い手の育成・確保など、農業経営の支援に向けて関係機関と一体となって、農地行政を推進してまいります。

交換分合事業につきましては、平成25年度より中瓜幕地区を対象とし、農地の調査・調整に取

児童福祉につきましては、少子化が進む中、両親が共に働く世帯が増加し、0歳児からの保育希望が増える状況にあります。次代を担う子どもたちの幼児保育は、人格形成の基礎となる最も重要な時期であり、保育園・地域保育所、子育て支援センターを中心として、保護者のニーズに応えるよう努めてまいります。

さらに、平成25年度中には、瓜幕地域の小学生を対象にした放課後活動組織「うりっ子ルーム」も開設される予定であり、児童福祉の充実が図られるものと期待しております。

幼保一体化につきましては、国の政策方針が明確に打ち出されない中ではありますが、国の動きを注視しながら幼保一体化に向け取り組んでまいります。

保健事業につきましては、健康相談事業や各種検診を積極的に実施しながら、町民皆さまの健康づくりに取り組んでまいります。

また、昨年に引き続き、胃潰瘍や胃がんの原因として注目されているピロリ菌の検診を今年度も40歳以上の方を対象に継続してまいります。

少子化および子育て支援対策



につきましては、妊婦一般健康診査の助成をはじめ、出産後は保健師、管理栄養士による訪問指導を実施してまいります。

平成25年2月に、関係機関のご意見をいただき策定した食育推進計画は、町民一人ひとりが生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな人間性を育む食育の推進における指針となる5力年の計画であります。今後、この計画を基に、平成25年度から関係機関、団体と連携し食育関係事業を実施してまいります。

高齢者福祉・介護保険事業につきましては、高齢化が進み独居老人、高齢夫婦世帯が増える中、介護予防に重点を置き、現



り組み、合わせて次期地区選定も含め有効な事業として、引き続き計画的に推進してまいります。

農業や農地に関する相談や、農業者の生活の安定と福祉の向上を図るため、農業者年金の加入を促進してまいります。

保健福祉

家族の絆や地域における人間関係が薄れたことを背景に、近年、老老介護や孤立死問題が発生しております。このような社会的問題に対処すべく、地域の皆さまや福祉に携わる多くの方々の協力を得ながら、災害時の要援護者支援をはじめ、子ども

状態を的確に捉え、社会福祉協議会をはじめとする関係機関と連携しながら、制度の効率的な運営に努めてまいります。

国民健康保険事業、後期高齢者医療制度につきましては、継続的な健康管理事業の推進により、健全な事業運営と医療費の抑制に努めてまいります。

商工観光

自然、食、文化など北の大地・鹿追町ならではの魅力を発信し、訪れる人々に感動と共感を広げ、心のこもったおもてなしと、地域の資源を生かした観光振興に努めてまいります。

また、国民の貴重な財産である大雪山国立公園の然別湖の園地再整備に向け、環境と共生する観光地づくりと、重要な自然遺産を生かしたジオパーク構想により、地域の持続的な発展を目指してまいります。

鹿追町の平成24年度観光入込客数は、震災等で冷え込んでおりましたが、町内観光事業者の自助努力と観光協会が実施するフォトコンテスト、ハッピーバースデーキャンペーン、冬期のみかべつ湖コタン開設や道東道